



## はじめに

ここでは、『Nexus 7000 および MDS 9500 用 Cisco NX-OS FCoE コマンドリファレンスガイド』の対象読者、構成、および表記法について説明します。また、関連マニュアルの入手方法についても説明します。

この章の内容は、次のとおりです。

- 「対象読者」(P.iii)
- 「マニュアルの構成」(P.iii)
- 「表記法」(P.iii)
- 「関連資料」(P.iv)
- 「マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート」(P.v)

## 対象読者

このマニュアルは、NX-OS デバイスの設定およびメンテナンスを行う、実務経験を積んだユーザーを対象としています。

## マニュアルの構成

このマニュアルは、次の章で構成されています。

章およびタイトル	説明
FCoE コマンド	Nexus 7000 および MDS 9500 シリーズ スイッチの Cisco NX-OS FCoE コマンドについて説明します。

## 表記法

コマンドの説明では、次の表記法を使用しています。

表記法	説明
太字	コマンドおよびキーワードは太字で示しています。
イタリック体	ユーザが値を指定する引数は、イタリック体で示しています。

[ ]	角カッコの中の要素は、省略可能です。
[ x   y   z ]	どれか 1 つを選択できる省略可能なキーワードは、角カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
string	引用符を付けない一組の文字。 <b>string</b> の前後には引用符を使用しません。引用符を使用すると、その引用符も含めて <b>string</b> とみなされます。

出力例では、次の表記法を使用しています。

screen フォント	スイッチに表示される端末セッションおよび情報は、screen フォントで示しています。
太字の screen フォント	ユーザが入力しなければならない情報は、太字の screen フォントで示しています。
イタリック体の screen フォント	ユーザが値を指定する引数は、イタリック体の screen フォントで示しています。
< >	パスワードのように出力されない文字は、山カッコ (<>) で囲んで示しています。
[ ]	システム プロンプトに対するデフォルトの応答は、角カッコで囲んで示しています。
!、#	コードの先頭に感嘆符 (!) またはポンド記号 (#) がある場合には、コメント行であることを示します。

このマニュアルでは、次の表記法を使用しています。



(注)

「注釈」です。役立つ情報や、このマニュアル以外の参照資料などを紹介しています。



注意

「要注意」の意味です。機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されています。



ヒント

「問題解決に役立つ情報」です。

## 関連資料

Cisco Nexus 7000 シリーズのマニュアルは、次の URL で入手できます。

[http://www.cisco.com/en/US/products/ps9402/tsd\\_products\\_support\\_series\\_home.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps9402/tsd_products_support_series_home.html)

Cisco MDS 9000 シリーズのマニュアルは、次の URL で入手できます。

[http://www.cisco.com/en/US/products/ps5989/tsd\\_products\\_support\\_series\\_home.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps5989/tsd_products_support_series_home.html)

## マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『*What's New in Cisco Product Documentation*』は RSS フィードとして購読できます。また、リーダーアプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。

